

脳卒中連携ネットワークの進捗状況について

- ・ 香取海匝地域では、平成30年度から「脳卒中連携ネットワーク」をテーマに、当該疾病に係る医療機関が抱える課題解消に向けた取組を行っている。

今年度においては、昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、「脳卒中連携ネットワーク全体イメージ図」（資料1-2）で示したもののうち、

- ・ 「血栓溶解療法（t-PA）・血栓回収療法実績」
- ・ 「脳卒中予後データ」

について、進捗（令和2年度分データ提供）を示すことに留める。

① 血栓溶解療法（t-PA）・血栓回収療法施行実績（資料1-3）

- ・ 旭中央病院提供データを基に事務局にて作成。
- ・ 脳梗塞による旭中央病院の入院患者数については、昨年度と比較してやや減少。
- ・ 血栓溶解療法（t-PA）施行実績については、昨年度と比較して大きな変化は認められないが、割合としてはやや増加。
- ・ 血栓回収療法施行実績については、昨年度と比較して増加しており、過去2年度分を鑑みて増加傾向。

② 脳卒中予後データ（資料1-4）

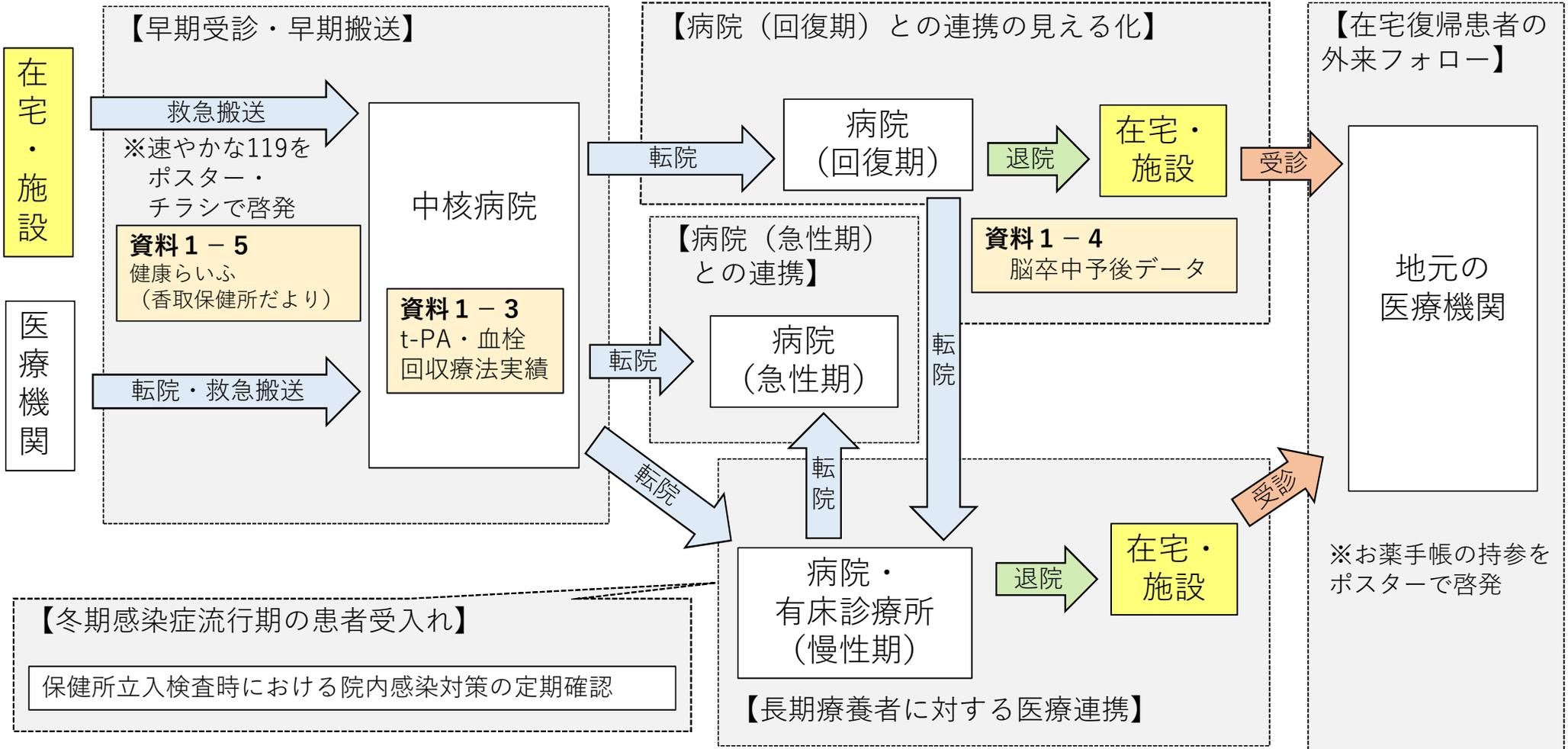
- ・ 令和2年度における旭中央病院・イムス佐原リハビリテーション病院の退院患者データを基に事務局にて作成。
- ・ 脳卒中予後について、在宅復帰率がやや増加。死亡率は減少。



今後も脳卒中予後の改善に向けて関係者と情報を共有していきたい。

脳卒中連携ネットワークの進捗状況について

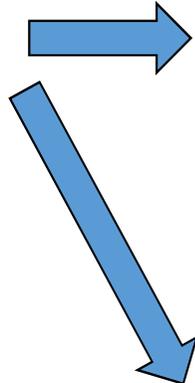
脳卒中連携ネットワーク 全体イメージ



血栓溶解療法（t-PA）・血栓回収療法施行実績

○ 旭中央病院脳梗塞入院患者数（人）

		H29	H30	R1	R2
合計		492	439	525	496
圏域内	海匠管内	273	257	312	289
	香取管内	108	88	103	110
圏域外		111	94	110	97



○ t-PA（血栓溶解療法）施行実績

		H29	H30	R1	R2	
患者数 (人)	合計	25	25	27	28	
	圏域内	海匠管内	16	14	16	11
		香取管内	3	5	6	9
圏域外		6	6	5	8	
割合 (%)	合計	5.1	5.7	5.1	5.6	
	圏域内	海匠管内	5.9	5.4	5.1	3.8
		香取管内	2.8	5.7	5.8	8.2
	圏域外		5.4	6.4	4.5	8.2

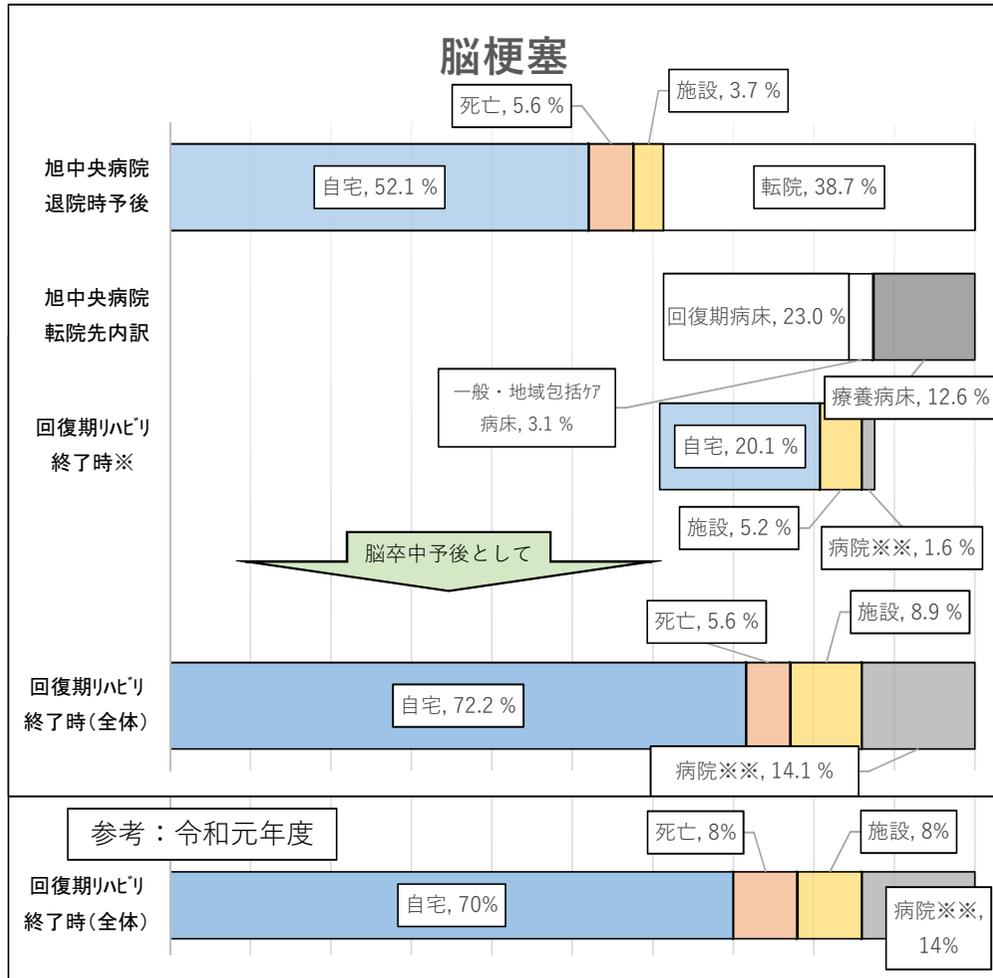
○ 血栓回収療法施行実績

		H29	H30	R1	R2	
患者数 (人)	合計	—	10 (7)	23 (4)	26 (6)	
	圏域内	海匠管内	—	7 (5)	11 (1)	15 (3)
		香取管内	—	3 (2)	7 (3)	10 (3)
	圏域外		—	0 (0)	5 (0)	1 (0)
割合 (%)	合計	—	2.3	4.4	5.2	
	圏域内	海匠管内	—	2.7	3.5	5.2
		香取管内	—	3.4	6.8	9.1
	圏域外		—	0.0	4.5	1.0

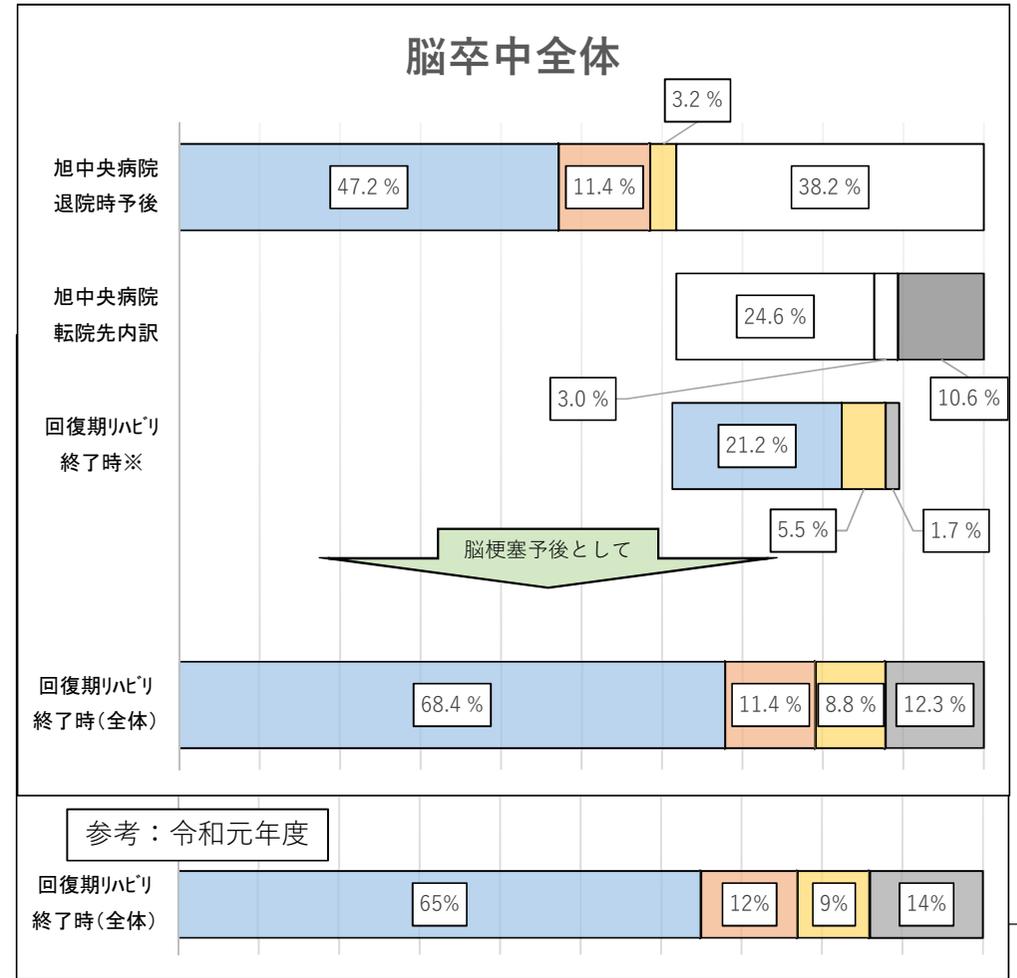
※（ ）内は、血栓溶解療法を併せて施行した患者数（再掲）

令和2年度 脳卒中予後データ

脳梗塞



脳卒中全体



※ 回復期病床、一般・地域包括ケア病床をまとめた実績の内訳を示したもの（回復期病床予後を利用）
 ※※ 基本的には療養病床を持つ病院になるが、一部療養病床を持たない病院（急性期など）が含まれる。

香取保健所（香取健康福祉センター）

第 45 号

健康らいふ

令和3年(2021年)
9月発行

編集・発行/千葉県香取保健所
〒287-0003 千葉県香取市佐原イ92-11
香取合同庁舎2階

☎ 0478-52-9161 FAX 0478-54-5407

保健所管内（香取郡市1市3町）（令和3年6月1日現在）

人口 103,258人 世帯数 40,361世帯

ホームページアドレス

(<https://www.pref.chiba.lg.jp/kf-katori/>)

脳卒中に御注意を！

○「脳卒中」について知っていただきたいふたつのこと

脳卒中とは、脳の血管が詰まったり、破れてしまったりすることで、脳が傷ついてしまう病気のことを指します。

脳卒中の症状として、**頭痛**、**片手の力が入らない**、**ろれつが回らない**、**言葉が出てこない**、**視野が狭くなる**、**片目が見えにくくなる**……といったものが現れてきます。

今回のコラムでは、**たったふたつのこと**を皆様をお願いいたします。このふたつを知り、実践していただくことが、皆様の健康に大いにお役に立てるものと信じます。

① これらの症状が出たら、すぐに救急車を呼ぶこと。

症状がすぐに消えたとしても、ためらわずに119番にお電話してください。「すぐに症状がなくなったし、大したことはないよ」「安静にしていれば大丈夫」……などとどうか思わないでください。

一刻も早く治療することで、それらの症状が長らく残ってしまう「後遺症」の発生を予防できます。

② 救急車を呼んだら、その場からあまり動かないこと。

もし安全な場所があれば、そこで頭を高くせずに、横向き（麻痺がある場合はそちらを上にする）に寝て、安静にしてください。動き回ることによって症状が悪化するおそれがあります。また、患者さん本人が車を運転して病院に向かうことで、事故に繋がってしまうケースも考えられます。そのまま落ち着いて救急車を待ちください。

脳卒中 1分でも早く

- 片側のマヒ**：よだれが出る、顔面が動かない、手足に力が入らない
- ろれつが回らない**：しゃべれない、言葉の意味が分からない
- 激しい頭痛**：バツで殴られたような痛み、はき気、おう吐、意識障害が伴うことも
- ピントが合わない**：物が2つに見える、カーテンがかかったように見える

突然の症状 様子を見てはいけません。
ためらわず **119** に電話してください。

**いざという時は
お薬手帳を忘れずに！**

救急時に重要な情報になります。
外出時は保険証と一緒に持ち歩きましょう。

消防本部 YUTAKA
千葉県マスコットキャラクター「ターバくん」